

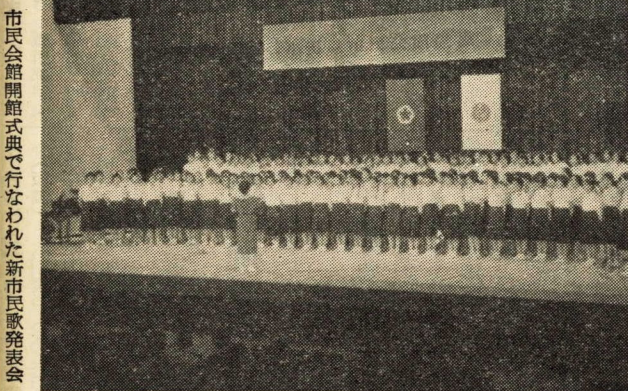
いるところでありますが、これには本市の将来を考えて十分構想を練る必要があります、また多額の財源をも要しますので、しばらくは仮移転をした旧城内高校校舎を使用し、時期を見て実現を期する考えであります。さらにまた現在、本市内にある各官庁の庁舎等はいずれも相当の年数を経ており、本市の現状に即しないものとなつてきておりますので、これらの新築も次々に行なわれつつあり、いずれにしても本市の様相はその面目を一変しようとしてつあります。特に昨年十月落成したMRAのアジ

伸びゆく小田原

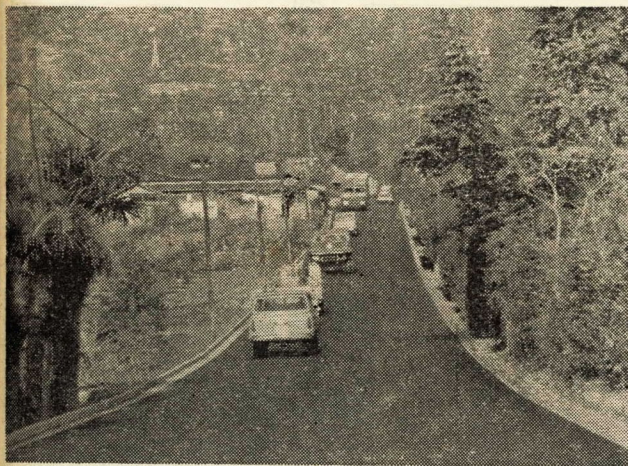
天守閣の再建、商店街の整備、あるいは工場の誘致などさまざまな発展を遂げているわたくし達のまち小田原は、いま国鉄新幹線小田原駅の着工や、小田原漁港修築事業の進捗などにより活気にあふれております。

そこで昭和三十八年の新しい年を迎えるにあたり、過去一年を回顧しながら姿をあらわすまちの模様、市内各地で進められた建設事業など伸びゆく小田原の姿を写真でまとめてみました。

市民会館 市民の文化、福祉の殿堂として昨年七月末に開館した市民会館は、開館以来演劇、音楽、映画あるいは各種大会などの会場として利用するものが多く、使用料はすでに二百万円を越えております。写真左市民会館正面入口。



市民会館開館式典で行なわれた新市民歌発表会

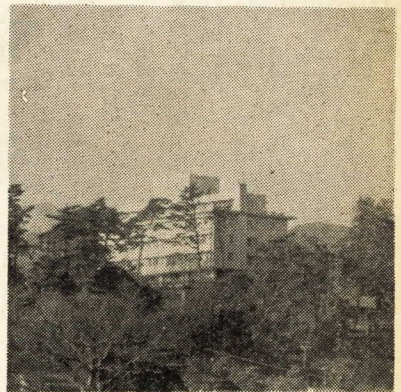


松田国府津線主要地方道(行政道路)のうち昨年末舗装が完成した曽我別所付近

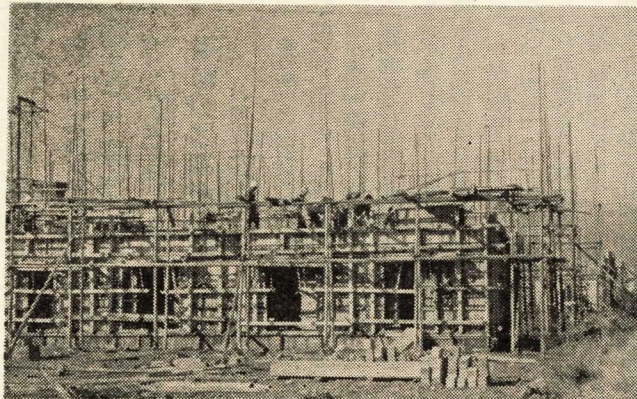


↑新装なった城南中学校
昨年十一月に完成した城南中学校は、市内板橋香林寺山の高地にあつて、藤だなのそばにあつた前の学校に比べ環境もよく、施設も大変立派なものです。

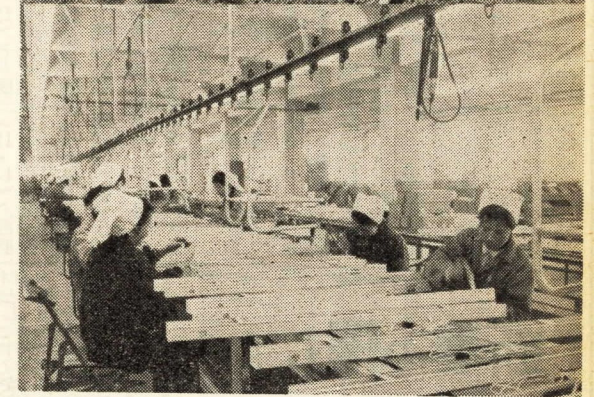
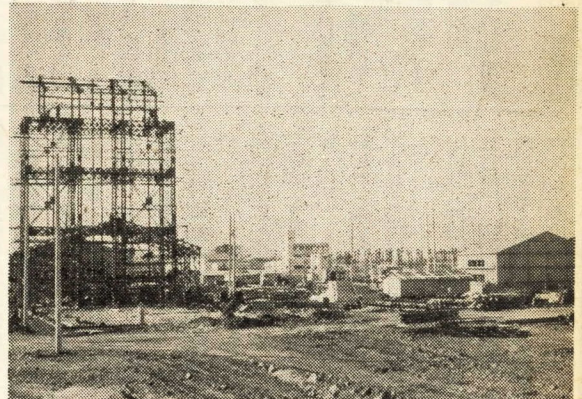
M R A アジア・センター ↓
アジアにおけるMRA(道徳再武装)運動の拠点として昨年十月市内小峰の旧開院家敷地内に建設されたもので、開館と同時に世界大会が開かれ世界各国の関係者が来原されたのもつこの間のことです。



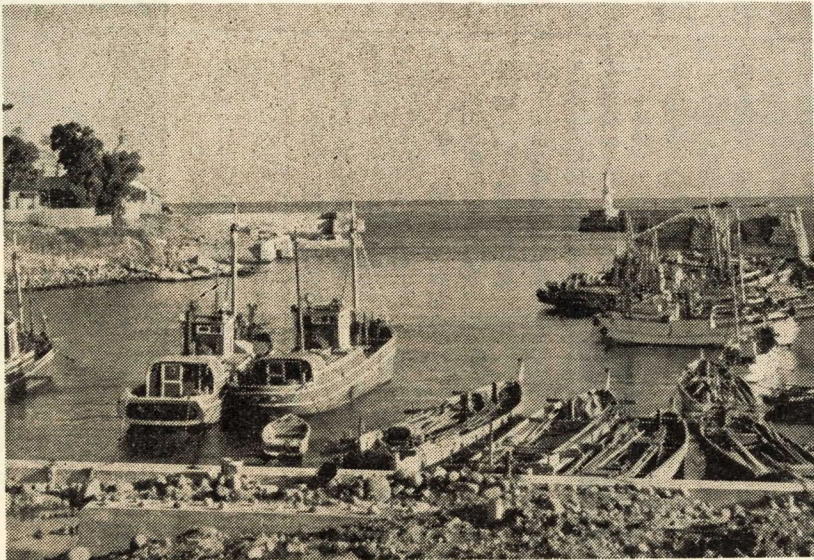
↑MRAから市街の一部を望む



市営住宅の建設 昭和37年度の市営住宅72戸の建設が年度内完成をめざしてただいま桑原と栢山で進められておりますが、これらが完成すれば本市の市営住宅数は631戸(共同住宅68世帯分を除く)になります。写真は建設中の桑原住宅。



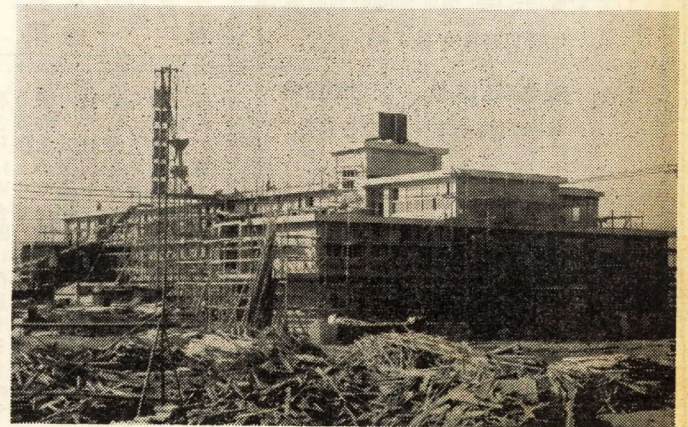
写真上 高田地内に建設中の三共有機KK小田原工場
すでに操業をはじめた日立ランプ小田原工場(蛍光灯器具の組立作業)



小田原漁港修築事業 ←
小田原漁港は、昭和二十五年度着手され、すでに漁港の一部は定置漁船やつり漁船に利用されるまで工事が進んでおりますが、目下計画中の仮上家ができれば水あげの中継基地として経済効果はさらにあがるものと期待されます。完成は昭和四十一年度の見込みです。

国鉄新幹線小田原駅の建設 ↓

国鉄新幹線小田原駅の建設工事が、昨年十一月から小田原駅裏で進められております。新駅のプラットホームは高架となり、駅舎はその下につくられますが、昭和三十九年三月には、新小田原駅が一目見通る見込みです。なお、この工事に併行して市では、広場、道路等駅裏の都市計画事業を進めます。



県立城北工業高校 写真は市内栢山に建設中の県立城北工業高校。工事は昭和39年度までですが、ことしの2月末には第1期工事を完了、4月には現在の仮校舎から移転し新学期に電気、機械、建築、電子工業、デザインの5科合わせて320名の生徒を入学させる見込みです。